

編集後記

共通第1次学力試験に代わって、平成2年度の入学者選抜から実施された大学入試センター試験も第2回目を終了しました。

本号、巻頭の座談会では、第1回目の大学入試センター試験の実施結果を振り返るとともに、各大学が実施する個別学力検査との組み合わせによる入試の多様化について、前川、佐野、松本、小澤、黒羽の各先生のお話をいただきました。

研究ノートでは、当センターの清水研究開発部長から、「国公立大学の入学志願と合格状況の推移」、山田助教授、山村助手から「受験者と合格者の学力特性に関する学力型に基づく分析」、中島教授から「米、英、独、仏各国における大学入学試験制度」をそれぞれ公表しました。

出題ノートでは、東京大学文学部遅塚教授、東京大学教養学部河原林教授から、第1回目の大学入試センター試験の世界史、物理の試験問題についての意見・評価をいただきました。

大学入試の改善では、京都大学経済学部野村教授、東京都立大学磯部教養部長、武蔵工業大学工学部小西教授から、それぞれの大学の入試改善について御執筆いただきました。

本号の発刊に当たり、御多忙の中を座談会に御出席いただいた前川、佐野、松本、小澤、黒羽の各先生、御執筆いただいた遅塚、河原林、野村、磯部、小西の諸先生に厚くお礼申し上げます。